

愛 労 連

愛知県労働組合総連合
 名古屋市中区新栄一丁目22-18
 TEL 052-262-1377
 発行人 阿部 精 六
 第 10 号 1990年10月30日

11・11国民大集会

◇日 時 11月11日(日)午前11時30分
 ◇会 場 東京「代々木公園」
 ※愛知より1,000名の代表団
 参加でとりくみ中。

許すな自衛隊の海外派兵

ゆらぐ
平和憲法

戦後日本の重大局面



女性も青年も立ち上る！
 (愛労連婦人協と青年協の統一街宣行動に、40名参加。10月27日、栄・丸栄スカイル前)



「90年安保廃棄10・21全
 国統一行動愛知県集會」
 は、10月21日(日)名古屋久
 屋市民広場で行われた。参
 加者は七千名、愛労連の他
 多くの民主団体から参加
 「僕、平和が好き」の子
 供姿などゼッケンや横断幕
 などもメーデーのようにめ
 だった。集会后、久屋市民
 広場から桜通りをへて米噴
 水前までデモ行進したが、
 沿道からは手を振る市民も
 多く、自衛隊海外派兵問題
 への関心の高さが浮き彫り
 にされた。

デモ行進に手をふる市民

10・21集会に七千人

「90年安保廃棄10・21全
 国統一行動愛知県集會」
 は、10月21日(日)名古屋久
 屋市民広場で行われた。参
 加者は七千名、愛労連の他
 多くの民主団体から参加
 「僕、平和が好き」の子
 供姿などゼッケンや横断幕
 などもメーデーのようにめ
 だった。集会后、久屋市民
 広場から桜通りをへて米噴
 水前までデモ行進したが、
 沿道からは手を振る市民も
 多く、自衛隊海外派兵問題
 への関心の高さが浮き彫り
 にされた。

すべての職場・地域から 「戦争協力法」廃案へ大運動を 国連平和協力法

戦後45年、日本はいまかつてない危険な道を歩もうとしている。中東情勢を利用し、政府・自民党は自衛隊の海外派兵を公然とうちだした。そのためこの臨時国会で「国連平和協力法」(実質は、米軍戦争協力法)を強行採決しようとしている。デモやピラへの市民の反応は高く、マスコミもこぞって批判し、労働者や民主団体はもとより、多彩な学者や文化人も行動に立ち上がってきた。「自衛隊の海外派兵」阻止、「国連平和協力法」(米軍戦争協力法)廃案——職場から地域から、この一点で一致するすべての人々と大運動をおこそう。

幹事先頭に一斉街頭演説

愛労連は、10月24日 行動に入った(11月9日の
 (水)から、栄、名古屋 臨時国会終了時まで)。
 駅、金山など名古屋の主要 じっと立ち止まる人や振
 ターミナルで、四役・幹事 り返る人など多く、最近に
 が交代で一斉街頭演説宣伝 はない反応がある。

もんぺい姿と軍服で

呼びかける(婦人協と青年協)

愛労連婦人協と青年協は
 10月27日(土)、丸栄スカ
 イル前で共同宣伝行動を行
 った。

婦人はもんぺい姿、男は
 軍服姿で共同でつくったピ
 ラを配布。戦争を体験した
 ある市民は「もう戦争はこ
 りごりです。がんばってこ
 ださい」と激励の言葉をか
 けてくれた。

国労、新聞労連 などと 共同アピール

10月22日(月)、愛労連
 がよびかけ、国労名古屋地
 本、新聞労連東海地連、名
 高教などと懇談、「自衛隊
 の海外派兵反対共同アピ
 ル」を発表し、県下の広範
 な労働組合や労働者へ共同
 の闘いを呼びかけることを
 決定した。

マスコミも反対

(サンデー毎日 11/4号表紙)



不屈

逆流に抗して
 革新の大義に生きる
 成瀬 昇
 愛知の労働運動の中に「運命」路線がある
 になり、運動に分断が持ち込まれたとき
 どのような進路が生き出されたか?!!
 いま「不屈」路線を歩み、またも運
 命と組織を揺るがせるキワドは何ぞや?
 激動期の労働闘争を生きた革新の浪漫!

名古屋市長選、国鉄闘争
 地労委民主化、川本のたたかいなど
 生きた教材、必読の書!

子供たちに死ぬことを 教えることはできない

「海外派兵反対」「即位の礼・大嘗祭反対」
 の声、朝日新聞意見広告に掲載

愛高教書記次長 栗木 稔



連日の国会行動
 一〇〇名の上京団
 朝鮮戦争のさ中、高知
 の竹本源治は「近いて還
 らぬ教え子よ、私の手は
 血まみれだ!君を縊った
 その網の端を私も持って
 いた、しかも人の子の師
 の名において」と日本の
 のすべての教職員の思い
 を詩にこめました。

その思いの中から誓い
 合った「教え子を再び戦
 場に送らない」のスロー
 ガンが今ほど実感をもっ
 て響くときはありませ
 ん。「国連平和協力法」
 その美名とは裏腹に、そ
 の実は「自衛隊海外派兵

新学習指導要領は「日
 の丸・君が代」「天皇を
 敬愛する心」を子どもた
 ちに押しつけようとして
 います。まるで天皇が主
 権者であるかのような雰
 囲気が「即位の礼」「大
 嘗祭」によって、つくり
 だされようとしています。
 「お国(天皇)のため
 に戦場へ」今、政府が

生命を豊かにしようと
 ことを使命とする教職員
 は、子どもたちに死ぬこ
 とを教えることはできま
 せん。教え子を戦場に送
 らない!青年に銃をとら
 せない!愛高教は憲法違
 反の「海外派兵反対」
 「即位の礼・大嘗祭反
 対」の声を朝日新聞意見
 広告に、よびかけ、連日
 の国会行動、十月三十日
 には百名の上京団も組織
 して、悪法粉碎まで全力
 でたたかう決意です。

許せない、
仲間の
首切り!

**'91 国鉄闘争
カレンダー**

申し込み受付中
 B3判13頁
 頒価1,000円
 発行/全労連国鉄闘争本部
 ●お申し込み、お問い合わせは全労連
 国鉄闘争本部 (TEL. 03-432-4942)
 または各地方組織まで。
 家庭に、職場に、店先に...
 広げよう支援の輪。

全労連



土台は築かれた…… 社会的な影響力大きな組織に

——第3回愛労連定期大会——

郵産労など新加盟 十万人組織へ全力

「要求を基礎に、すべての労働者・県民とともに」をスローガンに、9月30日愛労連第三回定期大会が県産業貿易館西館大会議室で行われた。

台風20号風雨激しい中、活発な議論が行われ、全員一致で新年度運動方針と役員体制を決定した。

井上議長は「10カ月の闘いであったが、土台は築かれた。社会的な影響力を発揮できるようにするため、組織拡大・91春闘・国鉄闘争・県知事選などをはじめ



21名の代議員が発言

「時間が限られているので、単産や地域の取り組みの発言が中心にならざるをえなかった。運動の中心についてもっと議論しあうためには、来年から2日間の大会が必要だ」(全国一般・黒島代議員)

各単産・地域から21名の代議員が発言。春闘、国鉄闘争、教育、県知事選などさまざまな課題についての職場や地域の闘いや愛労連強化について語られた。

「自分たちでセンターをつくり育てるのだという立場での発言が多かった。愛労連結成から一年足らずなのに、愛労連への結果がいっそう高まっていることを感じた」(医労連・小松代議員)

91年度執行部体制

議長	井上 利雄 (再・自治労連)	幹事	栗木 稔 (新・愛高教)
副議長	坂崎 進 (再・自治労連)		河井 孝徳 (新・きずな)
	見崎 徳弘 (再・愛高教)		谷藤 賢治 (新・運輸一般)
	加藤 瑠美子 (再・医労連)		加藤 勝 (再・中地域)
	三井 公子 (新・婦人協)		平田 茂 (再・尾中労連)
事務局長	阿部 精六 (再・全国一般)		千葉 祐二 (再・東三河)
事務局次長	山崎 節敏 (再・運輸一般)		土井 照雄 (新・港地区労)
	川添 博久 (新・国公共闘)		黒田 二郎 (新・千種名東)
	近藤 宣彦 (再・タクシ)		伊藤 ひとお (再・建設一般)
	根村 浩二 (再・JMIU)		永井 和彦 (再・自治労連)
	鈴木 正明 (再・愛建労)		滝澤 真志 (再・青年協)
	木下 一彦 (再・全動労)		酒井 文子 (再・婦人協)
	的場 忠則 (再・建設一般)	会計監査	辻 孝 (新・国公共闘)
	国村 忠文 (再・全国一般)		豊原 政巳 (新・検数労連)
	牛田 正美 (再・全印総連)		武藤 仁 (再・千種名東)
	小出 一則 (再・生協労連)	顧問	中原 東四郎 (再)
	松本 樹明 (再・福祉保育労)		成瀬 昇 (再)
	小寺 徹 (再・自治労連)		

東海銀行支援 共闘会議が結成 (10月3日)



イタリア総同盟、愛労連を訪問 (10月9日)



速報！ 医労連、清水会労働組合を結成 (10月25日 豊明市・74名)



10・18丸栄包囲行動

解決したら、苦勞かけた女房と新婚旅行がしたい

14年間の人生かけた闘い、いま正念場に

「いまが正念場です。今までの闘いや生きざまに誇りをもって決着してゆきたい」——南口進市、三十九歳。全国一般山下争議の分會長である。奥さんと子供三人、両親を石川県のふるさとに残したまま、山下一族・丸栄・東海銀行を相手の山場を迎えた。いま、山下争議は、十七年目に入った。山下(株)は名古屋市内南区内田橋にあるビルでボーリング、映画館、サウナ、不動産などを手広く営業していたが、一九七六年、経営悪化を理由に会社を閉鎖、全商業に加入している組合員のみ(七四年組合結成)を解雇した。背景資本の東海銀行は組合つぶし・会社つぶしに加担し、丸栄は子会社の栄和ストアをとおし債権を回収、そのため労働者への賃金は支払われなかった。

丸栄百貨店はよこどり現金をかえせ! 丸栄百貨店に現金をかえせ! 丸栄百貨店に現金をかえせ!

「怒りです」きっぱり言う。「山下一族は、もうかつての不動産だけ切り離し、自分たちの財産だけ確保し退職金は一切支払いませんでした。労働者を労働者として扱わない。こんな会社はない。絶対に許すことは出来ない」「賃金を横取りした丸栄も卑劣だ」。今、山下争議団の八名中四名は病氣だ。最年長は八十三歳。残りの四名も青年時代を過ぎ、皆四十に手が届く年齢になろうとしている。独身が二名、長い闘争が無関係ではないだろう。「去年の十月、六十五歳になるオフロクが足の骨の病気で手術することになった。電話で『争議をやめてうち(石川県能美郡)へ帰ってきてくれ』と、泣かれました。本当に辛かったです」「二カ月前悩まばなした。女房とも毎晩話をし、喧嘩をしたねえ。——争議団にとって家庭はもろにしわ寄せが押し寄せる。

「山下一族・東海銀行丸栄」の偽装閉鎖 全員解雇と闘う

全国一般 山下争議団分會長

南口 進市 さん (39歳)

学生時代知り合った看護婦の奥さんは、勤めていた病院を辞め、いま、小学校5年(男)3年(男)6歳(女)の3人の子供をつれ、石川県へ移り彼の両親の面倒をみている。単身で彼の生活費は月八万円。彼は、愛知争議団の事務局長でもある。「一つひとつの争議をいかに広い運動にするのか。ねばり強く緻密で大胆だ。愛知争議団をここまで発展させたのは、彼の力が大きい」(中部電力争議団・三枝豊明さん)と、仲間からの信頼は厚い。「支援共闘会議は闘う指針と力でした。身内だけでは正しい方針は出てきません」「愛労連が結成され、敵に対してのインパクトが比べられないほど大きくなりました」と、支援してくれる多くの仲間感謝する。「十七年間の山下争議も、闘いの広がりで山下一族・東海銀行・丸栄をここまで追いつめてきました。闘争が長引けば、病人が四名もいて大変ですし、僕自身も一日も早く子供や女房と一緒に暮らせるようになりたい。しかし、いいかげんな中味では年を越えても闘わざるをえません。納得出来る内容で解決出来るよう全力をあげる」「今までの闘いや生きざまに確信や誇りをもって、決着してゆきたい」そう語る顔は敵しい。「結婚してから十四年間。まともな給料をもらったことは一度もありません。解決したら、苦勞をかっ飛ばさずの女房と新婚旅行に行きたい。無論子供は抜きですよ」——この時、彼の表情は緩んだ。